

平成 19 年度 電気規格調査会 事業報告
(自平成 19 年 4 月 1 日～至平成 20 年 3 月 31 日)

1. 部会・委員会の新設・解散（JIS 原案作成委員会を除く）

(1)新設した標準化委員会

1)標準化委員会の新設

- ・海洋エネルギー変換器標準委員会 兼 IEC/TC114 国内委員会[H19/9]

2)標準特別委員会の新設

- ・変圧器標準特別委員会[H19/11]

(2)解散した部会・委員会

1)部会の解散

- ・輸送用電気設備部会[H20/3]

2)標準化委員会の解散

- ・鉄道電気設備標準化委員会[H20/3]

3)特別委員会の解散

- ・静止誘導機器標準特別委員会[H19/11]
- ・系統連系逆変換装置標準特別委員会[H19/7]
- ・ブッシング標準特別委員会[H20/2]

(3)「JEC の活性化方策についてのアクションプラン」に基づく部会再編

1)部会の新設

- ・パワーエレクトロニクス部会 [電気機器部会を再編]
- ・電磁環境部会 [電気一般部会を再編]

2. 会 合 数

(1)会議種別会合数

規格委員総会	1 回
規格役員会	6 回
政策委員会	6 回
表彰委員会	2 回
部 会	1 5 回
標準化委員会（標準特別委員会及び IECTC/SC 国内委員会を含む）	1 9 3 回
JIS 制定・改訂委員会	2 5 回
合 計	2 4 8 回

(2)部会別会合数

電気一般	50 回
計測制御通信	45 回
電気機器	66 回
原動機	7 回
送配電	37 回

電気材料	21 回
電線・ケーブル	5 回
輸送用電気設備	2 回
合 計	233 回

3. JEC 規格および電気専門用語集の制定・改訂状況

(1) 制定・改訂，廃止および確認

[制定・改訂]

- ・ JEC-5202 『ブッシング』の改訂
- ・ JEC-0221 『インパルス電圧・電流試験用測定器に対する要求事項』の改訂
- ・ JEC-2220 『負荷時タップ切替装置』の改訂
- ・ JEC-2201 『特殊変圧器』の改訂
- ・ JEC-1201 『計器用変成器（保護継電器用）』の改訂
- ・ JEC-2453 『高電圧交流可変速駆動システム』の制定
- ・ JEC-2100 『回転電気機械一般』の改訂
- ・ JEC-2470 『分散形電源系統連系用電力変換装置』追補 1 の制定

[廃止]

- ・ JEC- 122-1981 電気鉄道車両用主電動機[H20/3 廃止]
- ・ JEC-7132-1987 電気鉄道車両用補助回転機 [H20/3 廃止]

[確認]

なし

(2) 制定・改訂中

(電磁両立性 兼 IEC/SC77B 国内委員会)

- ・ JEC-TRxxxx 「(仮) 静電気放電イミュニティ試験に関連した SC77B 国内委員会ラウンドロビン調査結果」の制定案

(保護リレー装置)

- ・ JEC-2500-1987 「電力用保護継電器」の改訂案
- ・ JEC-2501 「保護継電器用 EMC 包括試験規格」の制定案
- ・ JEC-2502 「電力用交流電気量のデジタル変換」の制定案
- ・ JEC-2517 「送電線保護用デジタル形電流差動継電器」の制定案

(回転機)

- ・ JEC-TR21xxx 「圧延機用交流電動機」の制定案

(電力用変圧器)

- ・ JEC-2200-1995 「変圧器」の改訂案

(開閉装置)

- ・ JEC-2300-1988 「交流遮断器」の改訂案

(避雷器)

- ・ JEC-TRxxxx 「ポリマー容器型避雷器」の制定案

(パワーエレクトロニクス)

- ・ JEC-2410-1998 「半導体電力変換装置」の改訂案

(絶縁協調)

- ・ JEC-0102-1994「試験電圧標準」の改訂案

(高電圧試験方法)

- ・ JEC-xxxx「高電圧試験法一般」の制定案
- ・ JEC-xxxx「高電圧試験用測定システム」の制定案
(JEC-0201「交流電圧絶縁試験」, JEC-0202「インパルス電圧・電流試験一般」, JEC-213「インパルス電圧電流測定法」)を統廃合する後継規格の制定)
- ・ JEC-TRxxxx「デジタルレコーダ性能試験の具体的実施方法(指針)」の制定案
- ・ JEC-0401-1990「部分放電測定法」の改訂案

(電気材料)

- ・ JEC-6151-1995「電気絶縁材料の耐熱性試験方法通則」の改訂案

(電線・ケーブル)

- ・ JEC-3411-2008「20kV級ケーブルおよび接続部の試験法」の制定案

4. 日本工業標準規格(JIS)に係わる審議

工業標準化法(第12条)に基づき、自発的な工業標準原案(JIS原案)の制定・改正を継続し、各々JIS原案作成委員会を設置。8件のJIS原案作成を完了、4件のJIS原案を審議継続。

[平成18年8月公募分(平成18年8月～平成19年7月)]

- ・「低圧系統内機器の絶縁協調―第3部:汚染に対する保護のためのコーティング,ポットイング及びモールドイングの使用(IEC 60664-3)」の制定
- ・「低圧系統内機器の絶縁協調―第4部:高調波電圧ストレスの考慮(IEC 60644-4)」の制定
- ・「可変速駆動システム(PDS)―電磁両立性要求事項及びその試験方法」の制定

[平成18年12月公募分(平成18年12月～平成19年11月)]

- ・「家庭用電気機器及び類似機器からの人体ばく露に関する電磁界の測定方法(IEC 62233)」の制定

[平成19年4月公募分(平成19年4月～平成20年3月)]

- ・「固体絶縁材料の絶縁抵抗試験方法(IEC 60167)」の制定
- ・「固体絶縁材料の試験前及び試験時における標準状態調整方法(IEC 60212)」の制定
- ・「電磁両立性―第4-34部:試験及び測定技術―1相当りの入力電流が16Aを超える機器の電圧ディップ,短時間停電及び電圧変動に対するイミュニティ試験(IEC 61000-4-34)」の制定
- ・「水車及びポンプ水車用語(JIS B 0119)」の改訂

[平成19年8月公募分(平成19年8月～平成20年7月)審議継続中]

- ・「電磁両立性―第4部:試験及び測定技術―第5節:サージイミュニティ試験(IEC 61000-4-5)」の改正
- ・「高圧及び特別高圧進相コンデンサ及び付属機器(IEC 60871-1)」の改正
- ・「低圧系統内機器の絶縁協調 第1部:原理,要求事項及び試験(IEC60664-1)」の改正
- ・「低圧系統内機器の絶縁協調 第5部:2mm以下の空間距離及び沿面距離を決定するための包括的な方法(IEC60664-5)」の制定

5. IEC 活動状況

電気学会が担当している IEC(International Electrotechnical Commission:国際電気標準会議)国内委員会の数は、3月31日現在で、TC (Technical Committee : 専門委員会) が 30, SC(Subcommittee:分科委員会)が 13 である。これらの国内委員会の平成 19 年度の到着文書数は 1510 件の中で日本としての回答が必要な文書 279 件に対して 231 件の国際回答原案を審議・回答した。また出席した国際会議の数は 131 件、出席者は延べ 324 名であった。

(1)IEC (International Electrotechnical Commission : 国際電気標準会議) 規格への、日本規格提案、ならびに日本意見の反映の推進

- ・ IEC/TC114「海洋エネルギー(波力・潮力変換)」の国内審議を新たに担当。
- ・ IEC/TC14「電力用変圧器」の日本提案の規格「IEC60076-15:Gas-filled power transformers “ガス絶縁変圧器”」に関して、平成 17 年の CD(Committee Draft: 委員会原案)に引き続き、平成 19 年度に FDIS (Final Draft International Standard:最終国際規格案)を作成提案し、IS(International Standard:国際規格)として承認。
- ・ IEC/TC106「人体ばく露に関する電界磁界および電磁界の評価方法」において、日本提案規格“電力線近傍の磁界測定法”が立案され、平成 18 年 1 月に 1stCD(委員会原案)、平成 20 年 3 月に CDV(Committee Draft for Vote:投票用委員会原案)を提出。
- ・ UHV(Ultra High Voltage)に関する国際規格を提案すべく、「UHV 国際標準化委員会」を設置し、活動開始。IEC/SMB(Standardization Management Board:標準管理評議会)による「UHV 技術の成熟度および UHV 規格の必要性の評価を目的としたシンポジウムの開催」の決議を受け、平成 19 年 7 月に中国(北京)にて「IEC/CIGRE UHV 国際標準化シンポジウム」が開催され、UHV 国際標準化委員会が中心となり 11 件の論文発表を行い、シンポジウムの成功に貢献。
- ・ IEC/TC8「電力供給に関わるアспект」において、標準電圧の中に UHV(1100kV)を反映した CDV 文書が平成 19 年 11 月に発行。
- ・ IEC/TC28「絶縁協調」において、日本の低減電圧を含んだ試験電圧値を反映した CDV 文書が平成 20 年 3 月に発行。

(2)電気学会の IEC 国際役員職務は次のとおり。[13 の役職(11 名)を確保]

- ・ IEC/TC14/WG30「電力用変圧器」: 国際主査 1 名
- ・ IEC/SC22F/MT9「送配電用システム用パワーエレクトロニクス」: 国際主査 1 名
- ・ IEC/SC36C 「変電所用がいし」: **国際幹事 1 名**
 〃 /MT9,PT61462,PT62371 : 国際主査 3 名
- ・ IEC/TC68/WG5 「磁性合金および磁性鋼」: 国際主査 1 名
- ・ IEC/TC77 「電磁両立性」: **国際議長 1 名**
- ・ IEC/SC77B/MT12「電磁両立性高周波現象」: 国際主査 1 名
- ・ IEC/TC95/MT1 「メジャリング継電器および保護装置」: 国際主査 1 名
- ・ IEC/TC106/PT62110
 「人体ばく露に関する電界、磁界および電磁界の評価方法」: 国際主査 1 名
- ・ IEC/TC112/WG7,WG8「電気絶縁材料とシステムの評価と認定」: 国際主査 2 名

6. IEC 文書の審議状況

平成 19 年度の審議状況は、次の通りである。

国内委員会	名 称	到着 文書数	回答数 []は要回答 文書数*1
IEC/TC 2	回転機	63	16[21]
IEC/TC 4	水車	15	3[3]
IEC/TC 8	電力供給に関わるシステムアспект	18	3[6]
IEC/TC10	液体および気体誘電体	51	6[7]
IEC/TC11	架空送電線路	5	0[0]
IEC/TC13	電力量計測・負荷制御装置	20	6[6]
IEC/TC14	電力用変圧器	24	6[7]
IEC/TC15	絶縁材料	54	11[11]
SC15C	絶縁材料仕様	0	0
SC15E	試験方法	0	0
IEC/TC17	開閉装置および制御装置	2	1[1]
SC17A	高圧開閉装置および制御装置	31	13[13]
SC17C	高圧開閉装置および制御装置組立品	33	10[12]
IEC/TC22	パワーエレクトロニクス	12	3[4]
SC22E	安定化電源装置	6	0[0]
SC22F	送配電システム用パワーエレクトロニクス	31	9[10]
SC22G	可変速電気駆動システム	22	5[5]
SC22H	無停電電源システム (UPS)	11	1[3]
IEC/TC27	工業用電気加熱装置	72	2[15]
IEC/TC28	絶縁協調	20	1[2]
IEC/TC32	ヒューズ	8	3[4]
SC32A	高電圧ヒューズ	9	2[3]
IEC/TC33	電力用コンデンサ	2	0[0]
IEC/TC36	がいし	11	5[5]
SC36A	ブッシング	3	0[0]
SC36B	架空線路用がいし	6	0[0]
SC36C	変電所用がいし	3	1[1]
IEC/TC37	避雷器	21	4[6]
IEC/TC38	計器用変成器	15	4[5]
IEC/TC42	高電圧試験方法	18	5[5]
IEC/TC57	電力システム管理および関連する情報交換	57	23[25]
IEC/TC66	計測、制御および研究用機器の安全性	22	6[6]
IEC/TC68	磁性合金および磁性鋼	34	9[9]
IEC/TC73	短絡電流	5	1[1]
IEC/TC77	電磁両立性	32	3[4]

SC77A	低周波現象	81	17[18]
SC77B	高周波現象	34	8[8]
SC77C	高電磁界過渡現象	12	3[3]
IEC/TC78	活線作業	40	16[18]
IEC/TC85	電磁気量計測器	23	3[6]
IEC/TC95	メジャリング継電器および保護装置	21	5[9]
IEC/TC106	人体ばく露に関する電界、磁界および電磁界の評価方法	26	8[8]
IEC/TC109	低圧系系統内機器の絶縁協調	1	0[0]
IEC/TC112	電気絶縁材料とシステムの評価と認定	39	9[9]
IEC/TC114	海洋エネルギー(波力・潮力変換)	3	0[0]
国内委員会 計		1017	231[279]
共通・その他(SMB, C, ACOS 他)		493	—
合 計		1510	—

注) *1: 要回答文書は以下のとおり

CDV: 投票用委員会原案(Committee Draft for Vote)

FDIS: 最終国際規格案(Final Draft International Standard)

NP: 新業務項目提案(New work item Proposal)

CD: 委員会原案(Committee Draft)

DC: コメント用審議文書(Document for Comments)

DTS: 技術仕様書原案(Draft Technical Specification)

DTR: 技術報告書原案(Draft Technical Report)

Q: 質問票(Questionnaire)

AC: 事務連絡文書(Administrative Circular) 回答要求がある場合のみ

7. IEC 国際会議出席者

平成 19 年度中に開催された IEC/TC,SC に出席した人数は次表の通りである。

委員会名	会議	開催地	期間	出席者(名)
TC2 延べ7名	TC2 /WG27 ・ MT10	東京 (日本)	H19. 4. 16~20	2
	TC2/WG13	ワシントン (アメリカ)	H19. 5. 10~11	1
	TC2/WG27 ・ MT10	アーセム (オランダ)	H19. 9. 24~27	2
	TC2 WG31	ヨハネスブルク (南アフリカ)	H20. 3. 26~28	2
TC4 延べ15名	TC4本会議	バンクーバー (カナダ)	H19. 9. 10~12	7
	ISO/TC108/SC2-JWG1/WG5	バンクーバー (カナダ)	H19. 9. 8~9	3
	TC4/WG14	バンクーバー (カナダ)	H19. 9. 9	2
	TC4/WG18	バンクーバー (カナダ)	H19. 9. 9	1
	TC4/WG25	バンクーバー (カナダ)	H19. 9. 9	1
	TC4/WG29	バンクーバー (カナダ)	H19. 9. 8~9	1
TC8 延べ45名	TC8/MT1	パリ (フランス)	H19. 9. 12~13	2
	TC8/PT1	東京 (日本) オブザーバー出席含む	H19. 11. 5	4
	TC8/WG2	東京 (日本) "	H19. 11. 5	7

	TC8/WG3	東京（日本）	〃	H19. 11. 6	7
	TC8/AHG4	東京（日本）	〃	H19. 11. 6	8
	TC8/AHG3	東京（日本）	〃	H19. 11. 6	6
	TC8本会議	東京（日本）	〃	H19. 11. 7	11
TC10 3名	TC10本会議	パリ（フランス）		H19. 10. 25～26	3
TC14 延べ 6名	TC14本会議	メキシコシティ（メキシコ）		H19. 6. 7～8	2
	TC14/MT5	メキシコシティ（メキシコ）		H19. 6. 4～6	1
	TC14/MT5	ローマ（イタリア）		H19. 12. 3～5	1
	TC14/MT6	シュツガルト（ドイツ）		H19. 5. 14～15	1
	TC14/MT6	ローマ（イタリア）		H19. 12. 3～5	1
TC15 延べ 4名	TC15/WG8	ブラハ（チェコ）		H19. 5. 16	1
	TC15/WG9	ブラハ（チェコ）		H19. 5. 16	1
	TC15本会議	ブラハ（チェコ）		H19. 5. 17～18	2
TC17 延べ10名	TC17/SC17A	ニューデリー（インド）		H19. 4. 16～18	3
	SC17A/SC17C	ニューデリー（インド）		H19. 4. 16～18	3
	SC17A/MT40	ワーナビー（イギリス）		H19. 9. 5～6	1
	SC17A/MT42	アーネム（オランダ）		H20. 1. 23～26	1
	SC17A/MT43	ビルバオ（スペイン）		H19. 6. 3～6	1
	SC17A/MT43	ハナウ（スイス）		H19. 10. 8～9	1
TC22 延べ16名	TC22本会議	パリ（フランス）		H19. 10. 26	2
	TC22/MT3	パリ（フランス）		H19. 10. 25	1
	SC22E	パリ（フランス）		H19. 10. 25	2
	SC22E/MT5	パリ（フランス）		H19. 10. 24	2
	SC22F	パリ（フランス）		H19. 10. 24～25	1
	SC22G	パリ（フランス）		H19. 10. 24	2
	SC22G/MT7	パリ（フランス）		H19. 10. 23	1
	SC22G/WG11	パリ（フランス）		H19. 10. 22～23	1
	SC22G/WG10	ニュルンベルグ（ドイツ）		H19. 11. 29	1
	SC22G/WG11	グラスデン（デンマーク）		H20. 1. 23～24	1
	SC22H	パリ（フランス）		H19. 10. 25	1
	SC22H/ MT4	パリ（フランス）		H19. 10. 23～24	1
TC28 2名	TC28本会議	ニューデリー（インド）		H19. 11. 28～30	2
TC36 延べ8名	TC36/WG11	ビシ（フランス）		H19. 6. 12～13	1
	TC36/WG12	ビシ（フランス）		H19. 6. 14	1
	SC36B/MT12	ビシ（フランス）		H19. 6. 15	1
	TC36/WG11	ブラハ（チェコ）		H19. 8. 23	1
	TC36 SPC運営計画グループ会議	パリ（フランス）		H19. 12. 3	1
	TC36/WG12	ステンブシュ（南アフリカ）		H20. 3. 4	1
	TC36/WG11	ステンブシュ（南アフリカ）		H20. 3. 5～6	1
	SC36B/MT10	ステンブシュ（南アフリカ）		H20. 3. 7	1

TC37 延べ20名	TC37/MT4	ミラノ (イタリア)	H19. 4. 2～3	2
	TC37/MT10	ミラノ (イタリア)	H19. 4. 4～5	2
	TC37/MT10	ロスリン (アメリカ)	H19. 11. 5	4
	TC37/MT4	ロスリン (アメリカ)	H19. 11. 6～7	4
	TC37本会議	ロスリン (アメリカ)	H19. 11. 8～9	4
	TC37/MT10	バーテンベルグ (スイス)	H20. 3. 25～26	2
TC38 延べ5名	TC38本会議	パリ (フランス)	H19. 10. 23～24	2
	TC38/WG37	パリ (フランス)	H19. 8. 29～30	1
	TC38/WG37	バーゼル (スイス)	H19. 12. 6～7	2
TC42 延べ12名	TC42/WG12	グラーツ(オーストリア)	H19. 8. 20	2
	TC42/MT07	グラーツ(オーストリア)	H19. 8. 21	3
	TC42/MT04	グラーツ(オーストリア)	H19. 8. 21	1
	TC42/MT03	グラーツ(オーストリア)	H19. 9. 22	1
	TC42本会議	グラーツ(オーストリア)	H19. 9. 23～24	2
	TC42/MT07	慶州(韓国)	H19. 10. 22	3
TC57 延べ13名	TC57/WG10	ソウル(韓国)	H19. 4. 18～4. 21	3
	TC57/WG10タスク	バーデン (スイス)	H19. 5. 2～3	2
	TC57/WG14	ミネアポリス (アメリカ)	H19. 5. 7～9	1
	TC57/WG15	ミネアポリス (アメリカ)	H19. 5. 7～8	1
	TC57/本会議	ミネアポリス (アメリカ)	H19. 5. 9～11	3
	TC57/WG13 (WG19合同)	ローマ (イタリア)	H19. 10. 1～4	1
	TC57/WG10タスク	バーデン (スイス)	H19. 11. 20～21	1
	TC57/WG10 (WG17合同)	フレデリシア (デンマーク)	H20. 2. 25～29	1
TC68 延べ23名	TC68/JWG/WG1	上海 (中国)	H19. 10. 15	3
	TC68/WG2	上海 (中国)	H19. 10. 15	6
	TC68/MT3	上海 (中国)	H19. 10. 16	3
	TC68/WG5	上海 (中国)	H19. 10. 16	3
	TC68/本会議	上海 (中国)	H19. 10. 17	8
TC77 延べ35名	TC77	シドニー (オーストラリア)	H19. 9. 17～21	6
	SC77/WG13	コンバトリ (イギリス)	H19. 5. 30～6. 1	2
	SC77/WG13	東京 (日本)	H19. 11. 19～21	2
	SC77A/WG9	ビクトリア (カナダ)	H19. 4. 2～3	1
	SC77A/WG8	ニュルンベルグ (ドイツ)	H19. 5. 17～18	1
	SC77A/WG1	ウィーン (オーストリア)	H19. 6. 7～8	5
	SC77A/WG1	東京 (日本)	H19. 11. 15～16	6
	SC77B/WG10	徳島(日本)	H19. 4. 16～20	2
	SC77B/JWG-TEM	ホノルル(アメリカ)	H19. 7. 20	1
	IEC総会	シドニー(オーストラリア)	H19. 9. 17～18	1
	SC77B/MT12	シドニー(オーストラリア)	H19. 9. 25～28	3
SC77B/WG10	バレンシア(スペイン)	H19. 10. 22～26	2	

	SC77B/JWG-TEM	ノッティンガム(イギリス)	H19. 11. 29～30	1
	SC77B/JWG-TEM	ヨーク (イギリス)	H20. 3. 11～12	1
	SC77Cプロジェクトミーティング	シドニー(オーストラリア)	H19. 9. 20	1
TC85 2名	TC85/本会議	パリ (フランス)	H19. 10. 24	2
TC95 延べ13名	TC95/MT4 TF-121 作業会	サンフランシスコ (アメリカ)	H19. 4. 11～13	1
	TC95/MT3	ニース (フランス)	H19. 6. 4～5	2
	TC95/MT4	ニース (フランス)	H19. 6. 6～8	2
	TC95/MT2	東京 (日本)	H19. 10. 29～30	2
	TC95/MT4	ベルリン (ドイツ)	H19. 11. 5～8	2
	TC95/MT3	広州 (中国)	H19. 11. 27～29	3
	TC95/MT4 TF-121作業会	ベニス (イタリア)	H20. 2. 18～19	1
TC106 延べ32人	TC106/ CAG会議	パリ (フランス)	H19. 5. 18	1
	TC106 本会議	シャルロッテホルト(デンマーク)	H19. 11. 1	6
	TC106/WG2	コペンハーゲン (デンマーク)	H19. 10. 31	3
	TC106/WG2/PT6110	パリ (フランス)	H19. 10. 3～4	3
	TC106/WG2/PT6110	ロンドン (イギリス)	H19. 10. 30	3
	TC106/WG3	コペンハーゲン (デンマーク)	H19. 10. 31	3
	TC106/PT62209	金沢(日本)	H19. 6. 17	4
	TC106/PT62209	メリーランド (アメリカ)	H19. 10. 17	2
	TC106/PT62209	フォートローダーデル (アメリカ)	H20. 2. 17～14	2
	TC106/PT62232	ヘルシンキ (フィンランド)	H19. 6. 4～7	1
	TC106/PT62232	メルボルン (オーストラリア)	H19. 11. 28～12/4	1
	TC106/WG5	コペンハーゲン (デンマーク)	H19. 10. 30～31	3
TC112 延べ40名	T C 112 名古屋会議 (本会議, AG会議, WG1, WG2, WG3, WG4, WG5, WG6, WG7)	名古屋 (日本)	H19. 9. 10～14	18
	T C 112/WG 3/MT61934	東京 (日本)	H19. 4. 16	16
	T C 112/WG 6/MT60505	シャルロッテホルト (デンマーク)	H20. 2. 26～29	6
UHV国際 延べ20名	IEC&CIGRE UHVシンポジウム運営会議(第2回)	チューリッヒ (スイス)	H19. 6. 25	4
	IEC&CIGRE UHV国際シンポジウム	北京 (中国)	H19. 7. 18～21	16
	Joint IEC-CIGRE Coordination Group(第1回)	チューリッヒ (スイス)	H19. 11. 28	6
SB1 延べ6名	SB1国際会議 (UHV国際標準化)	北京 (中国)	H19. 7. 23	3
	SB1アジア会議	東京 (日本)	H20. 1. 11	3
SMB	SMB国際会議	東京 (日本)	H19. 11. 23～24	1
合計	—	—	—	324

8. JEC 活動の運営改善と活性化の推進および顕彰

(1)活性化方策のアクションプランの策定

平成 18 年度に答申書としてまとめた「JEC のあり方について-活性化方策に対する提言」に対する具体的な施策 (アクションプラン) についてアドホック委員会による検討を実施し、「電気規格調査会活性化方策についてのアクションプラン」として策定し、新分野、新技術に対応

するための政策委員会をはじめとしたそれぞれの役割の明確化,部会の再編成（電磁環境部会,パワーエレクトロニクス部会の設置,他）,インターネットホームページや学会誌等の活用や規格説明会の開催による広報活動の充実などを推進。

(2)H18年度に引き続き電気規格調査会として顕彰

・功績賞（2名）

富田誠悦氏：人体ばく露に関する低周波電磁界の測定方法に関する規格策定に貢献

竹内南氏：パワー半導体モジュール技術，特に絶縁ゲートバイポーラトランジスタやMOS形電界効果パワートランジスタに関する規格策定に貢献。

・功労賞（1名）

四元 勝一氏：パワーエレクトロニクス技術分野，特に安定化電源装置に関する規格策定に長年貢献。

9. 国内外の標準化機関との協力および連携

(1)UHV 国際標準化に向けて SB1 分科会と協力

SB1 分科会からの協力要請に対応し設置した UHV 国際標準化委員会(日高委員長)を中心に
して，JICCG(Joint IEC-CIGRE Coordination Group)により，技術分野毎の UHV 関連規格開発
を推進。

(2)経済産業省が策定した「国際標準化活動アクションプラン」に基づく，IEC 審議団体への各種
制度の活用による，国際標準化活動の支援。

①国際業務支援（国際議長 TC77，国際幹事 SC36A）

②IEC 重点 TC 国際会議出席旅費支援

③IEC（新規分野・産業競争力強化型国際標準提案）に関する「国際回答原案作成請負契約」と「国際規格共同開発委託契約」の締結

④国際会議出席旅費支援（日本自転車振興会）

⑤国際会議の日本開催支援